
OCVBと長野県観光機構との 連携協定締結

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）
令和5年6月

1. OCVBと一般社団法人長野県観光機構との連携協定締結

目的

日本を代表する「海洋文化リゾートの沖縄」と「山岳高原リゾートの信州」という対極にある強みやそれぞれの魅力ある環境・資源を活かし、DMO同士の連携を強化することにより、両県の観光産業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

連携・協力事項

- ① 将来的な定期便就航を目指した相互連携による観光誘客の促進に関する事
- ② 観光を通じた地域の魅力づくりに関する事
- ③ DMOの基盤強化に関する事
- ④ 前各号に掲げるもののほか、本協定の目的を達成するために必要な事項に関する事

締結式概要

締結日:令和5年6月2日(金)
式場:長野県庁3階



2. 連携協定締結後の主な取り組み方針

(1) 将来的な定期便就航を目指した相互連携による観光誘客の促進

・チャーター便造成促進

将来的な定期便就航を目指したチャーター便造成促進を目的に、共同プロモーションや両県での説明会、旅行会社・メディア訪問を実施する。

・教育旅行・修学旅行の相互促進

自然、平和学習、SDGsなどをテーマに共同で研究を行う。また学校関係者はじめ相互PRを行い、相互交流を促す。

・那覇空港をゲートウェイとしたインバウンドの誘客

両県の魅力あるコンテンツを組み合わせ、インバウンド(アジア、欧米豪)向けの商品造成やプロモーションを実施する。

(2) 観光を通じた地域の魅力づくり

・世界的に観光の潮流となりつつあるサステナブル・ツーリズム(※2)の誘客のため、サステナブルな観光地域づくりの研究・推進

※2: 訪問者、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済に十分配慮した観光

(3) DMOの基盤強化

・経営課題の共有や両組織が実践する取組などを学び合う“クロスアカデミー”(仮称)の実施

例: DXの推進、人材育成の制度・仕組み、収益事業の取組など

・人材の交流派遣の実施(中期的な取組)

次代を担う若手職員等の交流派遣による、それぞれの組織・地域資源の理解促進や人的ネットワークづくりなど

3. 連携協定締結の経緯

長野県及び沖縄県の交流連携に関する協定締結（令和5年3月15日）

令和5年2月2日に長野県阿部知事が沖縄県を訪問し、玉城知事と会談。阿部知事より交流連携協定の提案があり、両者合意。

令和5年3月15日に、長野県・沖縄県の交流連携協定を締結。

【協定の目的】

「長野の山」と「沖縄の海」に代表されるように対極となる強みや魅力を有する両県が、民間同士の交流などを含め、各分野において交流を促進し、連携・補完関係を強化することにより、両県の発展、ひいてはSDGsの達成に寄与する。

<参考リンク> [長野県と沖縄県の交流連携について](#)

<参考資料> [これまでの両県の交流連携の取組等](#)



「観光」を切り口にDMO（民間）同士の協定締結へ

長野県・沖縄県の連携協定内容に盛り込まれている「将来の定期便の就航を目指した相互連携による観光誘客の促進」について、両県の観光産業の振興や観光地域づくりの推進を担うDMO同士が連携協定を結び、「観光」を切り口とした取り組みを連携強化していくことを目指して、OCVBと(一社)長野県観光機構との連携協定締結に至った。

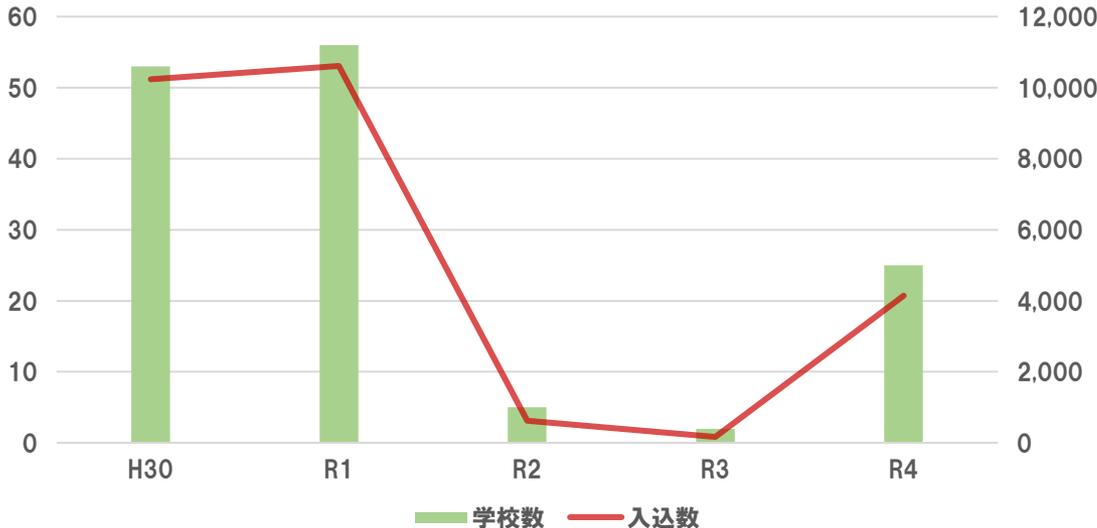
4. 沖縄県・長野県の観光交流の実績

□ 学習旅行実績

長野県 → 沖縄県

※沖縄県修学旅行入込状況調査より
R4は見込み値(5/30時点)

	H30	R1	R2	R3	R4
学校数	53	56	5	2	25
入込数	10,239	10,615	628	165	4,147



・北陸甲信越地方からの入込は
10月～12月が多い

・公立学校修学旅行実施基準
(日本修学旅行協会調査より)

長野県 中学校:2泊3日以内
小学校:3泊4日以内

5. チャーター便運航実績

信州まつもと空港より那覇／宮古／久米島／石垣／下地島 空港に102便 運航
(H22年度～R4年度)

- ・日本トランスオーシャン航空(JTA)様
8便
- ・フジドリームエアラインズ(FDA)様
94便

